



甲佐の夏の風物詩 第65回あゆまつり

本格的な夏の到来を告げるあゆまつりが盛大に開催
7月26日(日)・27日(月)「第65回あゆまつり」が、市街地および中甲橋グリーンパークほかで開催され、町全体が活気に満ちた2日間となりました。

町、甲佐町観光協会、甲佐町商工会、町教育委員会の共催。

まつりの開幕を告げる「開会セレモニー」は、午前9時から町総合保健福祉センター・ホールで開催。息の合った龍神太鼓の演奏、関係団体が参加しての安全祈願祭が執り行われました。

「子どもみこし」は午前10時30分から始まり、町総合保健福祉センター駐車場を発着点に、12団体約560人が参加。みこしを担いだ子どもたちが、暑さを吹き飛ばすような掛け声とともに市街地を練り歩きました。みこし終了後に大井手川沿いで「巨大そうめん流し」が行われ、約800人が集まってそうめんを味わいました。中国伝統芸の「変面」を披露する「大道芸シヨ」も開催され、子どもたちは熱心に観賞しました。

市街地では、甲佐町文化協会が



●町中に元気のいい掛け声が響いた「子どもみこし」 ●涼を満喫した「巨大そうめん流し」 ●力作が並んだ「街かどギャラリー」 ●子どもたちが夢中でつかんだ「アユのつかみ取り大会」 ●585人が盛大に踊った「総盆踊り大会」 ●まつりを盛り上げた「かかしコンテスト」



「街かどギャラリー」を主催し、書道や絵画などの作品を展示。甲佐小学校周辺に展示された「かかしコンテスト」の作品23体や町役場横の遊歩道に灯された竹でできた灯ろう「おおいであかり」が、まつりを盛り上げました。

午後3時からは、甲佐小学校プールで「アユのつかみ取り大会」を開催。650人以上の子どもたちが、保護者の声援を受けて、泳ぎ回るアユと奮闘しました。

「総盆踊り大会」は、午後6時30分から甲南パークで開催され、12団体585人が浴衣や法被（はっぴ）姿で「甲佐音頭」などの3曲で元気よく踊りを披露しました。台風12号の影響により27日（月）に延期された、約3,000発の花火が夏の夜空を彩る「花火大会」で観客は、しばし夏の暑さを忘れて夜空に咲き誇る花火に見入りました。

関連行事として、26日（日）にグラウンドゴルフ大会と少年剣道大会、7月18日（土）・19日（日）に少年野球大会を開催。8月2日（日）には、中甲橋グリーンパークであゆつり大会が開催されます。